



## 必要メモリー容量

---

71ページの表1は、InfoPrint 40 PAGES & ESC/Pオプション使用時の必要メモリー容量を示しています。

注:

1. 「PCLメニュー」、「PostScript(PS)メニュー」、「PAGESメニュー」、および「ESC/Pメニュー」では、「ページホゴ」メニュー項目が使用可能です。この項目では複雑なページを印刷するときに、プリンターがデータ圧縮プログラムを使用するかどうかを決定します。
  - 「ページホゴ=オート」:メモリーの制約が生じたときにプリンターは圧縮プログラムを使用します。これによって印刷速度が低下することがあります。
  - 「ページホゴ=オン」:プリンターは圧縮プログラムを使用しないので、さらにメモリーを必要とします。
2. カラムに2つの値が含まれている場合、2番目の値は、コンテキスト保管に必要なメモリーの量を示しています。コンテキスト保管により、プリンターは1つのジョブ・タイプ(PostScript、PCL5e、PAGES、またはESC/P)から別のジョブ・タイプに切り替えるときに、現在のデータ・ストリームに関する情報を記憶することができます。
3. 「MEMCONFIGメニュー」(メモリー構成メニュー)には、「PCLホカン」、「PSホカン」、および「PAGESホカン」の3つのメニュー項目があります。これらにより、各エミュレーションについてコンテキスト保管をオンまたはオフに設定することができます。これらのメニュー項目は、プリンター内にコンテキスト保管を可能にする十分なメモリーがある場合にだけ表示されます。

表 1. 必要メモリー容量		
	600dpi	
	片面印刷	両面印刷
基本構成およびPAGES & ESC/Pオプション		
ページホゴ=オート(A4サイズ用紙)	32/32MB	32/32MB
ページホゴ=オート(A3サイズ用紙)	32/32MB	32/32MB
ページホゴ=オン(A4サイズ用紙)	32/32MB	32/32MB
ページホゴ=オン(A3サイズ用紙)	32/32MB	32/32MB

## エミュレーションの解説

---

各エミュレーションを使用するときの注意事項について説明します。

## PAGES

---

### アプリケーションでの設定

本オプションを導入したとき、PAGESとしてお使いになる場合は、次の優先順位でプリンター・ドライバーを選択してください。

順位	プリンター
1	IBM InfoPrint 40 PAGES
2	IBM InfoPrint 20 PAGES
3	IBM Network Printer 24 PAGES
4	IBM Network Printer 17 PAGES IBM Network Printer 12 PAGES
5	IBM 5586/5588-H02
6	IBM 5584-K02
7	IBM 5584-G02/H02
8	IBM 5585/5587/5589-H01

注: 解像度の違うプリンター・ドライバーを用いると、アプリケーション上でのレイアウトが若干変わることがあります。

### 使用できないプリンター・ドライバー

Windows用プリンター・ドライバー「IBM 5585-H01/300DPI」

(ファイル名: PAGES300.DRV) で高解像度-300DPIは選択しないでください。

## PAGESコマンド

PAGESコマンドの詳しい解説は、別売のPAGESコマンド解説書 (N:SA18-7268) をご参照ください。ここでは、コマンド解説書に載っていない拡張コマンドと制限事項について説明します。

### BELコマンド

IBM InfoPrint 40 にはベルの機能がついていません。アプリケーションがBELコマンドをプリンターに送っても、プリンターはベルを鳴らしません。

### DC1・CANコマンド

PAGESコマンド解説書には、DC1コマンドとCANコマンドはプリンターがオフラインのときも受け付けるように定義されていますが、IBM InfoPrint 40 ではオフライン時にはコマンドを受け付けません。オンラインのときはDC1もCANも通常通り処理されます。

### エミュレーション・モード設定

IBM InfoPrint 40 でサポートされるエミュレーション・モード設定コマンドのパラメーターは、次のものに限られます。

書式	1B 7E 12 LEN N	
パラメーター	LEN (2バイト) N (1バイト)	パラメーターの長さを指定します。常にX'0001'を指定してください。 エミュレーションの種類を指定します。
	X'11'	PAGES/5577のエミュレーションが選択されます。
	X'20'	ESC/Pが選択されます。
		Nが他の値のときはコマンド全体が無視されます。

## 用紙トレイ選択コマンド

IBM InfoPrint 40 はさまざまな給紙トレイをサポートしています。

PAGESの用紙選択コマンドは、これらの給紙トレイをサポートするため、次のように拡張されています。

書式	1B 7E 46 LEN RES1 N RES2	
パラメーター	LEN (2バイト)	以降に続くバイト数を指定します。必ずX'0005'を指定してください。
	RES1 (2バイト)	予約済み。X'0000'
	N (1バイト)	入力トレイを指定します。次に可能な値と選択されるトレイを示します。
	X'00'	トレイ1
	X'01'	前面給紙トレイ
	X'02'	トレイ2
	X'03'	トレイ3
	X'04'	トレイ4
	X'05'	トレイ5
	X'0F'	予約済み
	X'11'~X'1B'	用紙の大きさによって自動的にトレイを選択します。
	X'11':	A3
	X'12':	B4
	X'13':	A4
	X'14':	B5 (B5-JIS)
	X'15':	A5
	X'16':	B6
	X'17':	予約済み
	X'18':	レター
	X'19':	リーガル
	X'1A':	ハガキ
	X'1B':	エグゼクティブ
	X'1C':	レジャー (11×17)
	X'1D':	B5 (B5-ISO)
	X'1E':	Com10
	X'1F':	Monarch
	X'20':	Statement
	X'21':	C5
	X'22':	DL
	X'23':	Folio
	X'FD'	現在選ばれているトレイがそのまま使用されます。
	X'FE', X'FF'	操作パネルで指定したトレイを選択します。
	RES2 (2バイト)	予約済み。X'0000'を指定してください。

## 排出トレイ選択コマンド

IBM InfoPrint 40 では、排出トレイ選択コマンドが定義されています。

書式	1B 7E 47 LEN RES1 BIN FACE [ DEST <sub>1</sub> .. DEST <sub>N</sub> ] RES2
パラメーター	<p>LEN (2バイト) 以降に続くバイト数を指定します。</p> <p>RES1 (2バイト) 予約済み。X'0000'を指定してください。</p> <p>BIN (1バイト) 出力トレイを指定します。値の範囲によって指定の方法が変わります。</p> <p>X'00' メイン出力トレイを指定します。</p> <p>X'01' フェースアップ・トレイ (上向き) を指定します。</p> <p>X'02' フィニッシャー・トレイ1 (下向き) を指定します。</p> <p>X'03' フィニッシャー・トレイ2 (下向き) を指定します。</p> <p>X'04' フィニッシャー・トレイ3 (下向き) を指定します。</p> <p>X'05'~X'1F' 予約済み</p> <p>X'FA' フィニッシャー自動切り換えを指定します。フィニッシャー・トレイ1から使用し、トレイが用紙でいっぱいになると、フィニッシャー・トレイ2、フィニッシャー・トレイ3へと出力先が自動的に切り換わります。</p> <p>X'FB' 予約済み</p> <p>X'FC' DEST<sub>1</sub>によって複数の出力トレイを切り替えます</p> <p>X'FD' 現在選ばれているトレイがそのまま使用されます。</p> <p>X'FE', X'FF' 予約済み</p> <p>FACE (1バイト) フェースアップ (上向き排紙) とフェースダウン (下向き排紙) の選択を行います。ただし、上向きと下向きのコントロールのできる出力トレイにだけ有効です (InfoPrint 40 では、各トレイの上向きと下向きは固定です。)</p> <p>X'00' フェースアップ (上向き排紙)</p> <p>X'01' フェースダウン (下向き排紙)</p> <p>X'FD' 現在選ばれている排紙方向がそのまま使用されます。出力トレイを複数指定して、各ページごとにトレイを指定します。BINでX'FC'が指定されたときだけ有効です。各々のページは、DEST<sub>1</sub>から始まってDEST<sub>2</sub>, DEST<sub>3</sub>,... DEST<sub>N</sub>に出力され、その次は再びDEST<sub>1</sub>に戻り繰り返されます。DEST<sub>i</sub>の値はBINで使用される値と同じ定義で、値の範囲はX'00'~X'1F'までです。</p> <p>DEST<sub>i</sub> (各1バイト)</p> <p>RES2 (2バイト) 予約済み。X'0000'を指定してください。</p>

## バーコード・コマンド

バーコード・コマンドはIBM ネットワーク・プリンターから新たに郵便カスタマー・バーコードのサポートが加わりました。次に、バーコード・コマンドの定義を示します。

### バーコード・フォーマット設定コマンド

書式	1B 7E 40 LEN U_BASE OR_TYPE OR BCT MOD NB_WIDTH NS_WIDTH WB_WIDTH WS_WIDTH CHR_GAP HEIGHT L_MARGIN R_MARGIN	
パラメーター	LEN (2バイト)	以降に続くバイト数を指定します。X'0006'またはX'0016'を指定してください。X'0006'の場合は、NB_WIDTH以下のパラメーターは指定されず、代わりに省略値が使用されます。また、X'0016'の場合はすべてのパラメーターが指定されなければなりません。
	U_BASE (1バイト)	基本単位を指定します。NB_WIDTH以下のパラメーターとESX42コマンドのパラメーターに適用されます。X'00' (1/1440インチ) のみ有効です。
	OR_TYPE (1バイト)	回転方式を指定します。 X'00' シリアルプリンター方式。現在位置から (I_OFFSET,B_OFFSET) 移動した位置を中心に回転した後、回転原点より上方向にあるバーコードの部分を下方向に移動させて印字します。 X'01' BCOCA (ページプリンター) 方式。現在位置から (I_OFFSET,B_OFFSET) 移動した位置を中心に回転をします。
	OR (2バイト)	回転を指定します。OR_TYPEでシリアルプリンター方式が指定された場合は、0度と270度の2種類の回転だけが有効です。また、ページプリンター方式が指定された場合は、0度、90度、180度、270度の4つの回転方向が有効になります。 X'0000': 0度 X'2D00': 90度 X'5A00': 180度 X'8700': 270度
	BCT (1バイト)	バーコードタイプ X'01': Code39 X'08': JAN短縮 X'09': JAN標準 X'0C': Interleaved 2 of 5 X'0D': NW-7 X'1B': 郵便カスタマー・バーコード



MOD (1バイト)

バーコード・タイプ別オプション

**Code39**

X'01': チェックキャラクターを生成しません。

X'02': チェックキャラクターを生成します。

**JAN短縮**

常にX'00'を指定してください。

**JAN標準**

常にX'00'を指定してください。

**Interleaved 2 of 5**

X'01': チェックキャラクターを生成しません。

X'02': チェックキャラクターを生成します。

**NW-7**

X'01': チェックキャラクターを生成しません。

X'02': チェックキャラクターを生成します。

**郵便カスタマー・バーコード**

常にX'00'を指定してください。

NB\_WIDTH (2バイト)

ナローバーの幅を指定します。X'0000'~X'7FFF'の値が有効で、X'0000'が指定されると省略値が使用されます。

NS\_WIDTH (2バイト)

ナロースペースの幅を指定します。X'0000'~X'7FFF'の値が有効で、X'0000'が指定されると省略値が使用されます。

WB\_WIDTH (2バイト)

ワイドバーの幅を指定します。JAN短縮、JAN標準、郵便カスタマー・バーコードの場合は無視されます。X'0000'~X'7FFF'の値が有効で、X'0000'が指定されると省略値が使用されます。

WS\_WIDTH (2バイト)

ワイドスペースの幅を指定します。JAN短縮、JAN標準、郵便カスタマー・バーコードの場合は無視されます。X'0000'~X'7FFF'の値が有効で、X'0000'が指定されると省略値が使用されます。

CHR\_GAP (2バイト)

キャラクター間ギャップを指定します。Code39とNW-7に対して有効です。X'0000'~X'FFFF'の値が有効で、X'0000'が指定されると省略値が使用されます。

HEIGHT (2バイト)

バーコードの高さを指定します。JAN短縮と標準以外はHRIの部分を含まない高さです。X'0000'~X'FFFF'の値が有効で、X'0000'が指定されると省略値が使用されます。

L\_MARGIN (2バイト)

バーコードの左マージンを指定します。X'0000'~X'FFFF'の値が有効で、X'FFFF'が指定されると省略値が使用されます。

R\_MARGIN (2バイト)

バーコードの右マージンを指定します。この値はシリアルプリンター方式の270度回転のときにだけ使用されます。X'0000'~X'FFFF'の値が有効で、X'FFFF'が指定されると省略値が使用されます。

## バーコード印字コマンド

<b>書式</b>	<b>1 7E 42 LEN I_OFFSET B_OFFSET FLAG DATA<sub>1</sub>..DATA<sub>n</sub></b>	
パラメーター	<b>LEN (2バイト)</b>	以降に続くバイト数を指定します。
	<b>I_OFFSET (2バイト)</b>	現在位置からバーコード印刷開始点への I 方向オフセットを指定します。
	<b>B_OFFSET (2バイト)</b>	現在位置からバーコード印刷開始点への I 方向オフセットを指定します。有効な値はX'8000'~X'7FFF'で負の値は2の補数で表現されます。
	<b>FLAG (1バイト)</b>	オプション・フラグ
		<b>Bit 7: HRI (Human Readable Information) 印字指定</b>
		B'0': 印字あり
		B'1': 印字なし
		<b>Bit 6-5: HRI印字位置指定</b>
		B'00': 省略時の位置
		B'01': 下部
		B'10': 上部
		<b>Bit 4: Code39での*印字指定</b>
		B'0': スタート/ストップコードとして*を印字しない
		B'1': スタート/ストップコードとして*を印字する
		<b>Bit 3-0: 予約済み。B'0000'を指定してください。</b>
	<b>DATA<sub>i</sub> (各1バイト)</b>	バーコード・データ

**注:** 使用される用紙によっては、期待された読み取り率が得られないことがあります。十分にテストのうえ、ご使用ください。

## コピーコントロール・コマンド

IBM InfoPrint 40では本オプションを使用することで、両面印刷、マルチ・アップ印刷や2面印刷などの便利な機能を有効に利用することができます。マルチ・アップ印刷は、複数のページを縮小して一つのページにまとめて印刷する方法です。2面印刷はA3用紙にA4サイズの論理ページを縮小せずに2ページ並べて印刷したり、B4用紙にB5サイズの論理ページを縮小せずに2ページ並べて印刷する方法です。コピー・コントロール・コマンドはこれらの機能を制御するコマンドです。

書式	1B 7E 3B LEN RES1 DPLX MLTI SCALE LINE N CTRL1 RES3 RES4 RES5 RES6 CTRL2 CTRL3 RES7	
パラメーター	LEN (2バイト)	以降に続くバイト数を指定します。X'0004'かX'001D'を指定してください。
	RES1 (2バイト)	予約済み。X'0000'を指定してください。
	DPLX (1バイト)	両面印刷の指定を行います。
		X'00' 片面印刷を行います。
		X'01' 両面印刷で用紙の長辺をとじる方式の印刷を行います。
		X'02' 両面印刷で用紙の短辺をとじる方式の印刷を行います。
		X'FD' 現在選択されている印刷方式をそのまま継続します。
		X'FE', X'FF' パネルで設定された片面・両面印刷方式を使用します。マルチ・アップ印刷の指定を行います。
	MLTI (1バイト)	
		X'01' 1ページを一枚の用紙に印刷します。
		X'02' 2ページを一枚の用紙に印刷します。
		X'04' 4ページを一枚の用紙に印刷します。
		X'06' 6ページを一枚の用紙に印刷します。
		X'08' 8ページを一枚の用紙に印刷します。
		X'09' 9ページを一枚の用紙に印刷します。
		X'10' 16ページを一枚の用紙に印刷します。
		X'FD' 現在選択されているマルチ・アップ・ページ数が使用されます。
		X'FE', X'FF' 現在操作パネルで設定されているマルチ・アップ・ページ数が使用されます。

**SCALE (1バイト)**

マルチ・アップ印刷の縮小方式を指定してください。

- X'00'      マルチ・アップ印刷のために区切られた枠の中におさまるように縮小します。
- X'01'      縮小を行いません。
- X'FD'      現在選択されている印刷の縮小方式を使用します。

**LINE (1バイト)**

X'FE', X'FF' 予約済み

マルチ・アップ印刷のための仕切り線を指定します。

N	線 種	
X'00'	実線 (省略時)	" ————— "
X'01'	点線	" ..... "
X'02'	短破線	" - - - - - "
X'03'	一点鎖線	" . . . . . "
X'04'	二重点線	" - . - . - "
X'05'	長破線	" - - - - - "
X'06'	二点鎖線	" . . . . . "
X'07'	実線 (X'00' と同じ)	" ————— "
X'08'	透明線	" " "

**N (2バイト)**

ページのコピー枚数を指定します。コピーの対象は物理的な用紙で、マルチ・アップ印刷が指定されていても、一つの用紙の上には複数の別のページが印刷され、その用紙が複数部印刷されます。1~999が有効範囲で、それ以外が指定されると、現在設定されているコピー枚数が継続して使用されます。

**CTRL1 (1バイト)**

マルチ・アップ印刷時のページ配列の原点を指定します。

- X'00'      左上を原点にページを配列します。
- X'01'      右上を原点にページを配列します。
- X'02'      右下を原点にページを配列します。
- X'03'      左下を原点にページを配列します。

**RES3~RES6 (各4バイト)**

予約済み。各々X'00000000'を指定してください。

**CTRL2 (1バイト)**

予約済み。X'0000'を指定してください。

**CTRL3 (1バイト)**

マルチ・アップ印刷時のページの配列の方向を指定します。

- X'00'      横方向にページを並べます。
- X'01'      縦方向にページを並べます。
- X'FD'      現在選択されているページの配列方向を継続して使用します。

**RES7 (2バイト)**

X'FE', X'FF' 操作パネルで設定されている配列方向を使用します。

予約済み。X'0000'を指定してください。

## ジョブ識別コマンド

ジョブが識別できます。このコマンドによって、両面印刷ユニット装着時におけるオフセット排紙機能をジョブ単位で制御できるようになります。

書式	1B 7E 3C LEN RES1 ID CTRL [FLAG RES2]	
パラメーター	LEN (2バイト)	以降に続くバイト数を指定します。X'0005'またはX'0008'を指定してください。X'0005'の場合は、FLAG以下のパラメーターは指定されず、代わりに省略値が使用されます。また、X'0008'の場合は、すべてのパラメーターが指定されなければなりません。
	RES1 (2バイト)	予約済み。X'0000'を指定してください。
	ID (2バイト)	ジョブの識別番号を指定します。X'0000' - X'FFFF'の値が有効です。ジョブ開始とジョブ終了の両方に同じ識別番号を指定してください。
	CTRL (1バイト)	ジョブ開始かジョブ終了かの指定をします。  X'01'            ジョブ開始。このコマンドを受け取った直後から1つのジョブが始まったことを認識します。  X'00'            ジョブ終了。このコマンドを受け取った時点で同じ識別番号で開始されたジョブが終わったことを認識します。
	FLAG (1バイト)	ジョブ単位で制御されるオプション機能を指定します。ジョブ開始時に指定してください。  Bit 7-1: 予約済み。B'0000000'を指定してください。 Bit 0: オフセット排紙指定 B'0': オフセット排紙しない B'1': オフセット排紙する  注: オフセット排紙指定は両面印刷ユニット装着時のみ有効です。その他のときは無視されます。
	RES2 (2バイト)	予約済み。X'0000'を指定してください。

## コピー枚数設定コマンド

コピー枚数が999枚まで指定できます。

書式	1B 7E 33 LEN FLAG N	
パラメーター	LEN (2バイト)	以降に続くバイト数を指定します。X'0002'かX'0003'を指定してください。
	FLAG (1バイト)	1バイトでコピー枚数を指定するか2バイトで指定するかの指定を行います。

N (1バイトまたは2バイト)	コピー枚数を指定します。FLAGがX'01'のときは、X'01'-X'FF' (1-255) を指定してください。FLAGがX'02'のときは、X'0001'-X'03E7' (1-999) を指定してください。
-----------------	--

### メディアサイズ設定コマンド

このコマンドは、5587以外のプリンターでは使用できませんでしたがInfoPrint 40では補助給紙トレイの不定形サイズ指定に使用することができます。このコマンドは、補助給紙トレイが選択されていて、操作パネル上のホジョサイズが「フテイケイ」または「フテイケイ (フウトウ)」に設定されているときに有効です。

書式	1B 7E 2F LEN UNT_B L_UNT Xm_EXT Ym_EXT
パラメーター	LEN (2バイト) X'0007'固定
	UNT_B (1バイト) 予約済み
	L_UNT (2バイト) X'00'を指定してください。 解像度の指定を行います。 X'3840'を指定してください。
	Xm_EXT (2バイト) 用紙幅 (1/1440インチ単位) を指定します。 以下の範囲の値のみ有効です。 5040-18720 (X'1380'-X'4920')
	Ym_EXT (2バイト) 用紙長さ (1/1440インチ単位) を指定します。 以下の範囲の値のみ有効です。 8496-28800 (X'2130'-X'7080')

このコマンドで指定されたサイズと操作パネル上の設定が異なる場合は、このコマンドで設定された値が使用されます。初期化設定コマンド (ESX01) を受信すると電源投入時の値に設定されます。

### 300/600dpi イメージ・サポート

プリンターの解像度に合わせて300dpi用のイメージと600dpi用のイメージを送ることができます。サポートされるコマンドは次のとおりです。詳しくは、「PAGESコマンド解説書」をお読みください。

コマンド	パラメーター	IBM ネットワーク・プリンターで新たにサポートされる値
外字-文字登録：ESX81	文字サイズ：N3	80
網かけ/塗りつぶし：ESX82 パターン登録	登録する網かけパターンの解像度： RES	X'012C'：300dpi X'0258'：600dpi
線パターン登録：ESX83	登録する線パターンの解像度：RES	X'012C'：300dpi X'0258'：600dpi
線パターン登録：ESX83	登録する線パターンの解像度：RES	X'012C'：300dpi X'0258'：600dpi
矩形イメージ描画：ESX84	イメージの解像度：N1	X'10'：300dpi X'40'：600dpi
圧縮イメージサポート付き 矩形イメージ描画：ESX86	イメージの解像度：RES	X'10'：300dpi X'40'：600dpi
グラフィクス・コマンド イメージの開始：GCBIMG/GBIMG	イメージデータの解像度：RES	X'10'：300dpi X'40'：600dpi

### PDTファイルについて

パーソナル・コミュニケーションズ/3270およびパーソナル・コミュニケーションズ/5250でPDTファイルを使用される場合は、NPPAGES.PDTまたはIBM5585.PDTファイルをご使用ください。

また、「IBM プリンターWeb」ホーム・ページ(<http://www.ibm.co.jp/printer>)上にあるネットワーク・プリンター・シリーズおよびInfoPrint 40用PDT/PDFもご使用になれます。

### Workstation Customization Objectファイルについて

AS/400のHPT(Host Print Transform)機能を使用される場合は、「IBMプリンターWeb」ホーム・ページ(<http://www.ibm.co.jp/printer>)上にある Workstation Customization Objectファイルをご使用になれます。

### サポートしていないソフトウェア

次のソフトウェアは、本オプションではサポートされません。

- フォームオーバーレイ・ユーティリティー バージョン3.0以下
- フォームオーバーレイ・ジェネレーター バージョン3.1以下
- フォームオーバーレイ・バーコード・プログラム バージョン1.00

- フォームオーバーレイ・ユーティリティー/2 バージョン3.0以下
- フォームオーバーレイ・ジェネレータ/2 バージョン1.1以下
- フォームオーバーレイ・バーコード・プログラム/2 バージョン1.0以下
  
- 日本語3270パーソナル・コンピューター
- 日本語5250パーソナル・コンピューター
- 日本語DOSおよびその上で動作するプログラム
  
- 高機能印刷ワークステーション・プリント・マネジャー バージョン1
- イメージ処理支援プログラム-J2
- イメージ編集プログラム



## ESC/P

---

### アプリケーションでの設定

ESC/Pの機能をお使いになる場合は、次の優先順位でプリンターを選択してください。

注：機種により余白の値が違うことがあります。

順位	プリンター
1	ESC/P24-J84
2	BJ-10/V
3	EPSON VP-1000/1047/1350/1500/1700
4	EPSON VP-2000/2050/2061/2600/3000/4800
5	EPSON VP-550/800/870/900/950/960
6	ESC/P24-J83

### 解像度の違い

イメージ・データについて

IBM InfoPrint 40 は、解像度600DPIで動作します。ESC/P系プリンターの解像度である180DPIとは異なるため、内部で180DPIから600DPIへの変換を行なっています。このため、印刷結果が若干異なることがあります。また、ESC/P系シリアルプリンターと印刷機構の違いから、解像度の低いイメージに関しては印刷結果の濃さに違いが生じます。

### フォント

本オプションで用いているフォントと他のESC/P系プリンターでは、使用している文字の種類が異なることがあります。この場合、印刷された文字が若干異なります。

## ESC/Pの初期状態

電源を入れた直後や初期化コマンド (ESC@) が発行された直後は、内部の設定が次のように初期化されます。

左マージン	0
改行量	1/6インチ
水平タブ位置	8文字毎
垂直タブ位置	無指定
文字ピッチ	10CPI
プロポーショナル	解除
国際文字選択	モード設定値
文字コード表 (ANK文字コード)	モード設定値
文字間スペース量	0
文字装飾	解除
縮小	解除
漢字モード	解除
漢字書体	モード設定値
縦書き／横書き	横書き
全／半／1/4角文字	全角文字
漢字 文字スペース量	全角：左0 右3
	半角：左0 右2
(ドット)	1/4：左0 右2
漢字装飾	解除
自動改行 (CR改行)	モード設定値

## ESC/Pコントロール・コード表

本オプションでサポートするESC/P J84コントロール・コードの一覧です。

<表中の記号>

○: ESC/P J84に従うもの

×: サポートされていないもの。指定された場合は無視されます。

コントロール・コード	略称	オプション
行単位ページ長設定	ESC C n	○
インチ単位ページ長設定	ESC C O n	○
ミシン目スキップ設定	ESC N n	×
ミシン目スキップ解除	ESC O	×
右マージン設定	ESC Q	○

コントロール・コード	略称	オプション
左マージン設定	ESC 1	○
1/8インチ改行量設定	ESC 0	○
1/6インチ改行量設定	ESC 2	○
n/180インチ改行量設定	ESC 3	○
n/360インチ改行量設定	ESC +	○
垂直タブ位置設定	ESC B	○
水平タブ位置設定	ESC D	○
印字復帰	CR	○
改行	LF	○
改ページ	FF	○
n/180インチ順方向紙送り	ESC J	○
水平タブ実行	HT	○
垂直タブ実行	VT	○
絶対位置指定	ESC \$	○
相対位置指定	ESC ¥	○
12CPI指定	ESC M	○
10CPI指定	ESC P	○
15CPI指定	ESC g	○
国際文字選択	ESC R n	
国		
0 USA		○
1 フランス		○
2 ドイツ		○
3 イギリス		○
4 デンマーク		○
5 スウェーデン		○
6 イタリア		○
7 スペイン		○
8 日本		○
9 ノルウェー		○
10 デンマーク2		○
11 スペイン2		○
12 ラテンアメリカ		○
13 韓国		○
64 リーガル		○
スーパー/サブスクリプト指定	ESC S	○
スーパー/サブスクリプト解除	ESC T	○
文字品位選択	ESC x	○*1
書体選択	ESC k n	○*2
文字コード表選択	ESC t	○
プロポーションナル指定/解除	ESC p	○

コントロール・コード	略称	オプション
ダウンロード文字セット選択	ESC %	○
ダウンロード文字定義	ESC &	○
文字セットコピー	ESC :	○
文字間スペース量設定	ESC SP	○
縦倍拡大指定/解除	ESC w	○
縮小指定	SI	○
縮小解除	DC2	○
アンダーライン指定/解除	ESC -	○
自動解除付き倍幅拡大指定	SO	○
自動解除付き倍幅拡大解除	DC4	○
48ドットダウンロード英数字の定義	ESC   &	○
48ドットダウンロード漢字の定義	ESC   2	○
48ドットビットイメージモードの指定	ESC   *	○
360DPIビットイメージモードの指定	ESC   B	○
n/360インチ紙送りの実行	ESC   J	○
倍幅拡大指定/解除	ESC W	○
強調指定	ESC E	○
強調解除	ESC F	○
二重印字指定	ESC G	○*3
二重印字解除	ESC H	○
文字スタイル選択	ESC q	○
イタリック指定	ESC 4	○
イタリック解除	ESC 5	○
一括指定	ESC !	○
縦書き指定	FS J	○
横書き指定	FS K	○
半角縦書き2文字指定	FS D	○
4倍角指定/解除	FS W	○
漢字アンダーライン指定/解除	FS -	○
漢字一括指定	FS !	○
漢字モード指定	FS &	○
漢字モード解除	FS .	○
半角文字指定	FS SI	○
半角文字解除	FS DC2	○
1/4角文字解除	FS r	○
漢字書体選択	FS k	○
外字定義	FS 2	○
全角文字スペース量設定	FS S	○
半角文字スペース量設定	FS T	○
ビットイメージ選択	ESC *	○
ビットイメージリピート	ESC *	○

コントロール・コード	略称	オプション
初期化	ESC @	○
単方向印字指定/解除	ESC U	×
漢字高速印字指定/解除	FS x	×
カットシートフィーダ制御	ESC EM n	○
n=1  ピン1選択		
2    ピン2選択		
R    用紙の排出		
カラー選択	ESC r	×
ブザー	BEL	○
後退	BS	○
デバイスコントロール1	DC1	×
デバイスコントロール3	DC3	×
データ抹消	CAN	○
自動解除付き倍幅拡大指定	ESC SO	○
縮小指定	ESC SI	○
VFUチャンネル選択	ESC /	○
リターンホーム	ESC <	×
ビットイメージ交換	ESC ?	○
n/60インチ改行量設定	ESC A	○
8ビット単密度ビットイメージ	ESC K	○
8ビット倍密度ビットイメージ	ESC L	○
8ビット倍速倍密度ビットイメージ	ESC Y	○
8ビット4倍密度ビットイメージ	ESC Z	○
位置揃え選択	ESC a	×
VFUタブ位置設定	ESC b	○
自動解除付き倍幅拡大指定	FS SO	○
自動解除付き倍幅拡大解除	FS DC4	○
半角文字スペース量補正	FS U	○
半角文字スペース量補正解除	FS V	○
1文字削除	DEL	○

\*1: ドラフトは文字幅のみサポートします。

\*2: OCR-Aが指定されたときはローマンになります。

\*3: 二重印字は強調と同様に動作します。

コントロール・コードの詳細については、セイコーエプソン株式会社刊の「ESC/P  
リファレンスマニュアル 第2版」をご覧ください。